

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年9月17日(2015.9.17)

【公開番号】特開2015-16371(P2015-16371A)

【公開日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2015-006

【出願番号】特願2014-213553(P2014-213553)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月31日(2015.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者により遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域が遊技者側から視認できるように該遊技領域の前面を閉鎖する透明な遊技窓と、

該遊技窓の外周に略沿って略環状に配置され、遊技媒体の投入により変化する遊技状態に応じて夫々発光可能な環状発光手段と、

該環状発光手段の前側を被覆すると共に透光性を有し前記遊技窓の外周を装飾する装飾体と、

該装飾体の後側に配置され、前記環状発光手段を周方向へ複数の周発光部に分割するように前記遊技窓の外周から外側へ略放射状に延び、遊技状態に応じて発光可能な複数の放射状発光手段と、を具備し、

前記環状発光手段と前記放射状発光手段とは、互いに異なる発光色に制御可能とされ、

前記環状発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の周発光部ごとに発光制御可能であり、

前記複数の放射状発光手段は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の放射状発光手段ごとに発光制御可能とされ、

前記放射状発光手段の発光は、前記周発光部の発光にあわせてなされ得るものであり、

前記環状発光手段は、前記遊技窓を通して視認可能な盤側発光手段と協調して発光制御され得ることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

音の出力にかかる制御を行う音出力制御手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技結果に応じて遊技者に遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：遊技機において、

「遊技者により遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域が遊技者側から視認できるように該遊技領域の前面を閉鎖する透明な遊技窓と、

該遊技窓の外周に略沿って略環状に配置され、遊技媒体の投入により変化する遊技状態に応じて夫々発光可能な環状発光手段と、

該環状発光手段の前側を被覆すると共に透光性を有し前記遊技窓の外周を装飾する装飾体と、

該装飾体の後側に配置され、前記環状発光手段を周方向へ複数の周発光部に分割するように前記遊技窓の外周から外側へ略放射状に延び、遊技状態に応じて発光可能な複数の放射状発光手段と、を具備し、

前記環状発光手段と前記放射状発光手段とは、互いに異なる発光色に制御可能とされ、

前記環状発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の周発光部ごとに発光制御可能であり、

前記複数の放射状発光手段は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の放射状発光手段ごとに発光制御可能とされ、

前記放射状発光手段の発光は、前記周発光部の発光にあわせてなされ得るものであり、

前記環状発光手段は、前記遊技窓を通して視認可能な盤側発光手段と協調して発光制御され得る」ことを特徴とする。